



# はこだて Marine Letter

令和4年3月 No.106

## シーズン前にしっかり点検！

3月に入って日差しもほんのりと暖かくなり雪解けも進んできました。

プレジャーボートに多い機関故障は、これからシーズン突入といった春先に多く発生する傾向がありますので、シーズンを迎える前に、しっかりと点検を行い、準備万端で海に出ましょう。

冬に使用していなかった方は、**バッテリー**の自然放電が考えられるため、事前に充電しておきましょう。(必要に応じてバッテリーの交換も考えましょう。)

**エンジンオイル**は、長期間使用していない状態から最初に始動する前にはオイル量が適量か、劣化がないかを点検し、始動後は、エンジン内にオイルが行渡るよう長めの**暖機運転**を行いましょう。

**冷却水系配管等**が**劣化**や**凍結**で破損していることもあり、浸水、オーバーヒートも考えられるため、エンジンをかけたら冷却水の排水だけでなく、エンジンルーム内もしっかり点検しましょう。

**ベアリング**等の定期的に交換が必要な部品は、交換しましょう。



また、自身で交換できないものや確認できないものは、専門業者に整備を依頼することも大切です。

## 春から初夏にかけての濃霧に注意！

これから暖かくなってくると津軽海峡は、大気と海水温の差から、霧が発生します。視界制限状態では、目視ではなかなか周囲の状況が把握できません。

もちろんそれは、自船だけではなく周囲を航行している船舶も同様です。

見張りは、目視だけではなく、音などあらゆる手段により、他船の早期発見に努め、早期に避航動作をとることが重要です。

また、他船に自船の存在を知らせるため、灯火の表示、レーダーリフレクターの装備、目立つ色の旗の掲揚、簡易型 AIS の装備も有効です。

## 観天望気（津軽海峡の昔からある天気のことわざ）

### ・片回し

春先に風が南から南西に回ることをいい、大時化となり、漁船は出漁を見合わせた方がよい。(恵山地区)

### ・暖気続けばヤマセ

暖かい日が続くと、東風が吹く。(小谷石地区)

